

# みやま

議会だより

平成16年  
8月5日発行

No. 34

発行 / 宮津市議会  
編集 / 議会情報化等特別委員会

|      |      |           |          |
|------|------|-----------|----------|
| 一般質問 | 市民議会 | 市議会の新しい構成 | 六月定例会の動き |
| 9    | 4    | 3         | 2        |

たんぽぽ保育園



## 6月定例会のこうき

### 正副議長を選出！

宮津市の六月定例会は三日(木)から二十五日(金)まで二十三日間の会期で全議員出席のもとに開かれました。今議会には、人事案件一件、条例改正一件、その他一件及び議員提出の意見書一件が提案され、本会議と委員会で慎重な審議の結果、全議案を全会一致で原案のとおり可決・同意しました。

一般質問には六人の議員が立ち、市長の政治姿勢をはじめ市政の課題について活発な論戦を展開しました。

また、最終日には、正副議長、丹後地区広域市町村圏事務組合議会議員の選挙並びに常任・特別・議会運営委員の選任及び特別委員会正副委員長の互選等を行いました。

なお、今議会の傍聴者は延べ二十七人でした。

## 6月定例会 審査の概要

六月十五日、総務文教委員会及び経済建設委員会について、付託議案の審査を行いました。概要は次のとおりです。

### 総務文教委員会

#### 非常勤消防団員 退職報償金支給 条例の一部改正

非常勤消防団員として五年以上勤務し退職した場合に支給する非常勤消防団員退職報償金について、階級・勤務年数に応じて、各階級の支給額を一律二千円引き上げ非常勤消防団員の処遇の改善を図る。

### 経済建設委員会

#### 市道路線の認定

府中地区の民間宅地開発事業に伴い整備されている道路を市道として認定し管理する。(金持1・2・3号線)

◎ 道路舗装、側溝整備はどつするか？

A 都市計画法に基づく開発で事業が行われており、技術基準に基づいて開発業社が整備し、宮津市が寄贈を受ける形になる。

## 意見書

### 「中山間地域の振興を！」市民の声を国政に

六月定例会で、次の意見書が全員賛成で可決され、国及び政府へ送付しました。

#### 中山間地域等 直接支払制度の 継続に関する意見書

平成十二年度から実施されている中山間地域等直接支払制度は、平成十六年度で最終年度を迎えるため、中山間地域で農業生産活動を行う農業者への直接支払いを通じて、耕作放棄地の発生防止と、農地等の多面的機能の維持を図るうとする本制度を、平成十七年度以降も継続することを求める意見書。

## 5月臨時会のこうき

宮津市の五月臨時会は二十六日(水)一日間の会期で、議員一名の欠席がありました。開かれました。今議会には、補正予算四件、専決処分三件、その他一件が提案され、慎重な審議の結果、全議案を全会一致で原案のとおり可決・承認・同意しました。

なお、今議会の傍聴者は延べ二人でした。



# 宮津市議会の新しい構成

正副議長

議長 森岡 一雄



副議長 安達 稔



丹後地区広域市町村圏  
事務組合議会議員

森岡 一雄

正副委員長

議会運営委員会

委員長 徳本 良孝  
副委員長 小田 彰彦

常任委員会

総務文教委員会

委員長 宇都宮和子  
副委員長 橋本 俊次

厚生水道委員会

委員長 大森 秀朗  
副委員長 馬谷 和男

経済建設委員会

委員長 谷口 喜弘  
副委員長 松本 隆

特別委員会

議会情報化等特別委員会

委員長 馬谷 和男  
副委員長 木内 利明

地域整備促進特別委員会

委員長 平野 亮  
副委員長 橋本 俊次

合併問題調査特別委員会

委員長 松浦登美義  
副委員長 小田 彰彦

会派の異動

無会派 橋本 俊次

## 議会の構成

( = 委員長 = 副委員長 )

議会運営委員会

徳本 良孝 小田 彰彦  
仲島 淳一・平野 亮・木村 健二・尾上 董明  
宇都宮和子・松浦登美義

総務文教委員会

宇都宮和子 橋本 俊次  
吉田 透・木内 利明・木村 健二・徳本 良孝  
安達 稔

常任委員会

厚生水道委員会

大森 秀朗 馬谷 和男  
北仲 篤・下野 正憲・仲島 淳一・平野 亮  
松浦登美義

経済建設委員会

谷口 喜弘 松本 隆  
森岡 一雄・尾上 董明・齊藤 末夫・福井 愿則  
小田 彰彦

特別委員会

議会情報化等  
特別委員会

馬谷 和男 木内 利明  
北仲 篤・下野 正憲・吉田 透・松本 隆  
小田 彰彦

地域整備促進  
特別委員会

平野 亮 橋本 俊次  
北仲 篤・谷口 喜弘・大森 秀朗・仲島 淳一  
宇都宮和子・松本 隆

合併問題調査  
特別委員会

松浦登美義 小田 彰彦  
仲島 淳一・平野 亮・木村 健二・尾上 董明  
福井 愿則・徳本 良孝



### 答弁要旨

## 要望の趣旨踏まえ 適切に対応

**質問** 島崎グラウンドは土の質が悪く、けが等が心配。土の入れ替えを。

**答弁** 要望の趣旨を踏まえ、適切に対応していきたい。

## 島崎公園の防球対策を！

**質問** 島崎公園憩いの広場は、飛球による幼児等のけがが心配。フェンスの設置を。

**答弁** 植え込みや高木等が一定の防球の役割を果たしているが、今後の利用状況や景観等を勘案し、対応について関係者と協議・検討したい。



ひとつひとつ丁寧に答弁する徳田市長

## 島崎グラウンドの 土の入れ替えを！ 栗田紘一（宮津市体育協会）

### 運動公園 テニスコートの整備

**質問** 運動公園テニスコートは陥没・隆起が著しい。移設し整備を。

**答弁** 陥没・隆起についての原因究明を行った上で、そのあり方を検討していきたい。

# 特集 市民議会を 開催！

宮津市初



## 蕪村記念館建設による 観光振興を！

宮城由紀子（宮津市文化団体協議会）

### 答弁要旨

まずは歴史資料館の十分な活用を

**質問** 蕪村が滞在したといわれる見性寺境内かその付近に蕪村記念館を建設し蕪村ゆかりの

資料収集や展示を行えば、市民文化の向上や観光振興上からも多大の効果が見込めるのでは？

**答弁** まずは歴史資料館を十分に活用していくことが第一義と考えている。建設には、展示資料の調達方法が大きな課題となる。将来、機が熟せば、その時点で総合的な見地から研究したい。



## 老人クラブと老人大学の 支え合いの具体策を 入柿孝子（宮津市老人クラブ連合会）



### 答弁要旨

老人大学でも  
市老連への  
加入を呼び掛ける！

進を目的として活動。

**質問** 老人クラブの会員数が減少しているが、老人大学の影響もあると思う。老人クラブ、市老連、老人大学それぞれの役割は？ 互いに支え合うことが大切と思うが具体策は？

**答弁** 老人クラブは、地域単位での仲間づくり、生きがいがづくりの推

一方、老人大学は、地域を越えた生涯学習の機会の一つとして開催し、それぞれに異なる意義がある。今後、老人大学で老人クラブへの加入の呼び掛けを行うなどし、双方の加入者・参加者の増加、活動の充実に努めたい。

## 通学路の危険個所の整備を！

山下貴裕（京都市立海洋高等学校）

### 答弁要旨

国道は京都府へ要望  
市道は順次改修

【質問】 国道17

8号栗田方面の歩道は狭い。栗田トンネル内歩道も危険。整備を。

【答弁】 栗田トンネルに自転車も通れる歩道をつくるのは、今は困難と思うが、京都府と

相談してみる。府道栗田半島線の交差点から栗田トンネルまでの歩道は京都府が状況に感じ修繕。栗田トンネルから上司側についても、歩道の設置を引き続き府へ要望していきたい。

【質問】 小中学生の通学路で危険箇所がある。何らかの処置を。  
【答弁】 緊急性・必要性の高い箇所から順次、反射鏡の設置や側溝の改修等に努めている。交通安全への意識も高めたい。



市制施行五十周年事業の一環として、「開かれた議会」を目指し、「市民議会」を五月三十日（日）に開催しました。市内の各種団体から推薦を受けた方、高校生、一般公募の方の計十三人に「一日議員」になっていただき、市長に、市政におけるさまざまな課題、提案など、日頃考えておられることを質問していただきました。徳田市長は行政用語を避けながら、一つ一つ丁寧に答えられました。詳細は次のとおりです。  
なお、傍聴者は二十八人でした。

### 観光資源の有効活用を！

【質問】 日本三景天橋立の活用を。京都縦貫道が開通したが、通過点になっていないか？

【答弁】 観光入込客、宿泊客数、観光客の消費額、共に増えており、京縦綾部宮津道路開通に伴う経済効果は大。今後、関係機関と連携し、天橋立をはじめとする観光資源を生かす手立てを考えたい。

【質問】 海を利用した観光は？大型客船が接岸可能な港・棧橋の整備を。海洋資源の有効活用は？

【答弁】 京都府に大型岸壁の整

## 通学路の危険個所の改修計画は？

岩田雄一郎（京都暁星高等学校）

### 答弁要旨 府で自転車歩行車道を計画

備を要望しているが、効率性等から実現は困難。海を生かした取り組みとして、養老地区の定置網体験や宮津鮮魚市を定着させ、海産物等の販売拡充を図るなど、今後も取り組みを広げたい。

## KTRの集客率向上に工夫を！

柴田愛恵（京都市立宮津高等学校）

### 答弁要旨

KTR存続へ市民の積極利用を

【質問】 「マイル制度の導入」「学生の定期代軽減」「列車運行のない時間帯の解消」「車両の二両編成化」等集客率を上げる工夫が必要と思うがどうか？

【答弁】 運行本数は、旧国鉄時代に比べ大幅に増加している。宮津市では、団体利用への補助や、料理と温泉をセットにした「宮津市民号」の運行など、利用促進に努めている。提案の「マイル制度」も有効性を十分検討の



上、KTRと相談したい。「運行本数の増加」「定期運賃の値下げ」「二両編成化」については、収支、車両の保有台数、人員等の関係から現状では困難。いずれにしても、KTRの存続は必須。市民の積極的な利用を。

ある。改修計画はあるか？

【答弁】 京都府において歩行者や自転車の専用道路となる井田大垣自転車道の計画があり、既に整備されている区間については十分に利用してほしい。見通しの悪い交差点への道路反射鏡の設置や、幅員の狭い道路での側溝のふたかけ等により、安全確保に努めていきたい。

【質問】 にしがき宮津店 京都暁星高等学校の区間、杉末文珠の区間の道路は大変危険。ほかにも、違法駐車が多い道路、見通しの悪い道路が



# 市民による「ふるさとサミット」の立ち上げを！

岩瀬英輔（宮津市自治連合協議会）

## 答弁要旨

自治連等各種団体や市民と一緒に研究したい



質問 郷土出身者との交流、故郷への期待を知る機会、ふるさとの情報発信の機会として「ふるさとサミット」を立ち上げてはどうか？

答弁 参加対象者の特定、周知方法、実施主体など、実施に向けてのさまざまな検討課題が考えられる。自治連をはじめ各

況を知る指標はあるか？ 公開はされているか？

# まちづくり等の長期計画の指標はあるか？

河嶋洋文（宮津青年会議所）



## 答弁要旨

総合計画に掲げ各分野ごとに組み組んでいる

## 質問

まちづくりの進捗状況

種団体や市民の力を借りながら一緒に研究していきたい。

# 郷土文書に親しめる施設整備を！

質問 郷土の文書に親しめるよう図書館の早期建設並びに既存施設との連携を。

答弁 厳しい財政状況下だが、早期建設に向け鋭意取り組む。今後も郷土資料の充実に努め、市民・来訪者に分かりやすく、使いやすい施設となるよう、ネットワークを強化したい。

政のパートナーシップ」を掲げており、市の政策立案や施策の推進に、市民が積極的に参加できる協働への仕組みづくりを更に進めたい。宮津青年会議所にも、若者のリーダーとして、まちづくりの取り組みをお願いしたい。

# 市の青少年育成事業は？

質問 青少年を対象に市が計画推進している事業はあるか？

答弁 総合計画において「子どもがのびのびと育つまちづくりプラン」を掲げ、地域を活動基盤として、青少年が多様な人々との交流や自然体験・社会体験等を通じて社会性を習得していけるよう、各種施策を展開している。

# 教育予算の大幅増額を！

井上隆広（宮津市青少年後援会連絡協議会）

## 答弁要旨

義務教育を念頭に予算確保に努めている



質問 宮津市の小学校の1学級当たりの図書費は与謝地方で最低。教材消耗品費も保護者が一部負担している状況。教育予算の大幅増額が必要だ。

答弁 学校図書蔵書に加え、市立図書館からの学校貸出文庫、団体貸出のほか、本年度から移動図書館の幼稚園・小中学校訪問を実施。教材の消耗品費は、予算確保に努め、必要経費を措置している。近隣他町とは、積算、計上科目の相違などもあり、一概には比較できない。

質問 現在、就学前全児童を無料化しており、府下の市では最高水準。乳幼児医療を含む福祉制度は、本来、国で統一的に実施されるべき。まずは京都府へ制度の拡充を要請する。

# 子育て支援策の充実を！

質問 若者や若い夫婦が安心して暮らせる条件整備を。子育て支援策の充実を。

答弁 平成十四年度に宮津市児童育成計画「子どものびのびプラン」を策定し、子育て支援策を積極的に進めている。更に地域行動計画を策定することとしており、本年度は子育て支援ニーズを把握するためアンケートを実施。

# 中学校まで医療費を無料に！

質問 与謝郡四町は、義務教育終了時まで医療費が無料。宮津市でも実現を。



## 市町村合併の最終期限は？

岸田國彦（一般公募）

### 答弁要旨

平成18年3月31日  
までの延長が可能に



**質問** 合併の最終期限は？  
**答弁** 法改正により、平成十七年三月三十一日までに議会で合併を議決し、知事に申請すれば、平成十八年三月三十一日まで合併期日を延長しても、国の財政支援措置が可能。

### 地域に合った特区の創設を！

**質問** 宮津市の特性に合った特区の創設はできないか？  
**答弁** 先進事例や地域のニーズを踏まえ、効果的な特区の実現に取り組んでいきたい。

### 一市四町以外の枠組みは？

**質問** 別の枠組みの検討は？  
**答弁** 一市四町が最も望ましいと考えている。それに向けて最大限の努力をしているが、難航。合併協の協議結果や市議会の意向を踏まえ、市として適切に対応したい。

### 専用グラウンドゴルフ場を！

**質問** 老人福祉施策の一環として、専用グラウンドゴルフ場を整備しては？  
**答弁** 日本グラウンドゴルフ協会公認の十六ホールとなると、一定規模の用地が必要とな

り、ただちにはいかなない。現在整備中の日置ふれあい公園内に、八ホールの芝コースの整備を計画している。

## 宮津市のごみ問題の現状は？

小室恵美子（宮津市連合婦人会）

### 答弁要旨

埋め立て処分量は激減  
資源化も年々増加

**質問** 連合婦人会は昭和四十年から環境問題に取り組んでいる。当市のごみ問題の現状は？  
**答弁** マイバッグ運動は、更に啓発が必要。分別や集団回収によって、資源ごみは年間二千 以上を再利用。また、平成七年の粗大ごみ処理施設稼働により、できるものは全て再資源化しており、埋め立て処分量は激減。ごみの分別もおおむね適正になされ、市民の意識の向上に感謝している。

### 市民に期待するものは？

**質問** 市民に何を期待するか？  
**答弁** ごみ問題をはじめ環境問題の解決は行政だけでできない。市民一人ひとりが高い意識で主体的に実践されることを期待。

## 宮津市ホームページの充実を！ 堀口善一（一般公募）

### 答弁要旨

リニューアルにより  
アクセス件数が大幅に増



**質問** 市のホームページを充実し、速報性、気軽に意見等ができる仕組みにパブリックコメントの導入を。  
**答弁** 昨年十月から、タ

イムリーな情報提供、各種サービス・手続き等の紹介コーナー新設、一部申請書のダウンロードを可能にするなど内容を大幅に充実し、アクセス件数は大きく伸びている。意見等を気軽に発信できる仕組みは状況を見ながら更に工夫。パブリックコメントの導入は重要な課題。今後もより良いシステムづくりを進めていきたい。

### 栗田地区の下水道計画は？

**質問** 栗田地区の今後の下水道計画は？  
**答弁** 栗田地区については、本年一月に宮津湾流域下水道の整備区域に編入した。現在整備

を実施している区域から順次進めているが、早期に水洗化を希望される方は、合併処理浄化槽設置の補助金制度を利用願いたい。



熱心に聞き入る傍聴者

**男女共同参画社会  
実現に向けて  
男性の啓発を！**  
村岡千鶴（一般公募）

**答弁要旨**

**各種団体等と  
タイアップし  
工夫したい**

**質問** 男女共同参画社会の  
実現に向け、男性への啓発を  
どう考えているか？

**答弁** 男女共同参画の推進  
には男女が共に手を携えて取  
り組むことが大切。PTA等  
各種団体等とタイアップし、  
男性の参加も増えるよう男女  
共同参画セミナーのあり方を  
工夫していきたい。

**女性の参画率  
アップを！**

**質問** 女性が発言できる場、  
機会を多くし、女性の参画率  
を高めてほしい。

**答弁** 市の審議会委員の女



性の参画率は上がってきている  
が、引き続き参画促進に努めた  
い。また、市民のみなさんにも、  
家庭や地域、職場など、身近な  
ところからも取組みを進めてい  
ただきたい。



一日議員のみなさん～市長・正副議長を囲んで～

**9月定例会の予定**〔会期9月1日～9月29日〕

|       |                      |       |                                |
|-------|----------------------|-------|--------------------------------|
| 8月27日 | 請願・陳情等締切<br>(午後5時まで) | 9月15日 | 常任委員会                          |
|       |                      | 21日   | 議会運営委員会                        |
| 30日   | 議会運営委員会              | 24日   | 本会議<br>(委員長報告～採決・<br>決算提案理由説明) |
| 9月1日  | 本会議(提案理由説明)          | 29日   | 本会議<br>(決算質疑<br>～委員会付託)        |
| 8日    | 本会議(一般質問)            |       |                                |
| 9日    | 本会議(一般質問)            |       |                                |
| 13日   | 本会議<br>(質疑～委員会付託)    |       |                                |
| 9月14日 | 常任委員会                |       |                                |



# 一 般 質 問

## 市政に対する質問・提言 ここが聞きたい

6月定例会では、6人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。



宮津市火葬場

### 公明党 松本 隆 火葬場申込み(仮予約)を二十四時間体制に

#### 答弁要旨

#### 市民のニーズと費用対効果を考慮し検討

**質問** 現在、火葬場の使用申し込みが、市役所受付時間内と、午後五時以降は午後十時まで仮予約として警備員が電話で対応している。現在、午後十時以降の問い合わせ例もあり、二十四時間体制の受付を伺う。

**答弁** 今後、市民のニーズとともに当該業務の委託に要する経費等調査し、費用対効果も考慮し検討していく。

### 子育ての環境と外出支援サービスについて

日本共産党 宇都宮 和子

#### 答弁要旨

#### 外出支援は保障と負担のあり方から検討

**質問** 回転扉に挟まれ、子どもが死亡した事件や、回転遊具で指を切断する事故が続いて起きた。日本は二〇二二年に遊具の安全指針ができたが、点検が十分でない自治体が二割程ある。当市の安全点検状況はどうか。

府中ふれあい広場に設置のサイレンは、乳幼児が多く遊びに来る。通院ボランティアのニーズが

高まっているが、通院だけでなく買物などにも対応してほしいとの要望がある。生活対応型としても考えるべきではないか。

**答弁** 遊具は、職員の目視点検と専門業者の点検を実施。今後とも適切管理に努める。サイレンはチャイムに変更できないので現状で理解を。宮津市の子どもの医療費助成は府内の市の中では最高水準。これは市の考え方で実施する。通院ボランティアの確保が必要。外出の保障と負担のあり方を検討する必要がある。

### 阿蘇海的环境保全と問題点

**質問** 水質保全・汚染の軽減を図る事業で、「阿蘇海に砂を入れ」水質地質浄化の取り組みがされている。その一方で、府道天橋立線を横切り阿蘇海に排出している四力所の排水路が、取り入れた浜砂によって埋もれふさがっている。排水路の水は濁り悪臭が立ち込め、溝ぶたの上になわき出る状況である。環境保全のためにも早急な対応策を伺う。

河川から阿蘇海の流れ出たアシが海流によって府中方面に流れ着く。景観環境の影響も考

え、今後の処理方法の対応について伺う。

**答弁** 排水路から海面への高低差がない状況で、潮の干満によって流れている状況にあり、排水路の改修が必ずしも根本的な対応策にならない。今後の対応について、京都府と協議していく。

京都府にアシの処分をお願いしているが、処分適地の確保や多額な経費も必要とするなど課題もあり、引き続き京都府と協議していく。



府中ふれあい広場

その他の質問  
公園の砂場のネコ対策について

# 合併協議の現状と今後の行方は

蒼風会 小田 彰彦

## 答弁要旨

### 合併の道筋をつけることが私の責務

**質問** 合併協議会

が設置されて一年九カ月が経過した。いまだ合意に至っていない。住民が合併に期待するよう議論がなされたか疑問である。合併は手段であって目的ではないはずだ。行政の効率化を進め、コストを削減するために新しい行政の姿を住民に提示する努力が求められている。その意味では合併に反対を唱える住民はいない。今後の取り組みをどう考えているのか。住民の思いをよく聞いて、市長を

はじめ各町の町長のリーダーシップを発揮して議論を進めてもらいたい。

**答弁**

現状としては、一市四町による合併協議の継続は困難な状況にあるが、この地域にとって一市四町の枠組みが最善であることには変わりない。私としては、住民の幸せと地域の将来のため、当面、その方向で最大限努力したい。

## 三位一体改革と市政の今後

**質問**

骨太の改革とも言われている三位一体の改革は厳しい財政運営をもたらすと考えられるが、地方の自立を促進する面も強調されている。今後の行財運営での変化や工夫が期待されるが、市政運営についてお聞きしたい。

**答弁**

国からの補助金や交付税の大幅削減が地方自治体の経営を圧迫している。行政組織の強化、効率化に向けて、まずは市民の理解が得られる合併を成就させたい。



合併協議会風景

# マスタープラン作成について

宮津新生会 大森 秀朗

## 答弁要旨

### 本年度中に策定

**質問**

宮津市においては、第五次総合計画のもと推進されているマスタープランは、基本方針をより具体化するために、取り組みの基本方針や具体的の方策、都市計画にない視点や場合によつては理想

像も含めて検討し、まちづくり全体の基本理念と目指す都市像を明確にし、整備方針をしめすものと思う。この中で、地域課題と特性等を考慮し都市像を考え、実現化に向けた方針が決まる。そこで、近隣の市町の状況と当市の進捗状況また地域の課題と特性等は地域振興計画が必要と思うが、作成要請と後押しがなされているのか。

**答弁**

二十一世紀を迎え、量の拡大から質の向上へと転換し、地域の実情に応じた多様な都市づくりが求められている。市として、これらに対応するため、都市計画マスタープラン策定作業を進めている。平成十四年度に現状



オッパマ花まつり

把握や課題の整理、平成十五年度にはプラン策定委員会を設置し将来像の提案を受け、さらに全体構想と地域別構想の検討を行い、本年度中に策定する。

地域での振興計画策定は住民の自主的なまちづくり活動に有意義。市では、まちづくり事業助成制度により経費助成するほか、自治連総会での発表周知など、気運の醸成に努めている。

# 破綻した合併協議を どのように継続するのか

日本共産党 馬谷 和男

## 答弁要旨

### 合併の可能性がある限りベストを追求する

**質問** 合併協議の今の状況は、合併の是非を判断すべき時にあるが、六月四日の協議会では「継続審議」となり、野田川町長の出席の可能性もない合併協議会を、どのように継続されようとするのか。

また、合併協議会の今後の行方が問題になるが、どのように判断されるのか。さらに、一市四町以外の枠組みでの合併も考えているのか。

**答弁** 野田川町長の協議に応じないとする姿勢は変わらないが、私としては、可能性が少しでもある限りベスト（一市四町）を追求すべきと考える。今後は、動向を見極めた上で、議会とも協議し対応していく。

### 火葬場移転と学校給食実施を

**質問** 火葬場移転について地元の強い要望があるが、合併協議会でどこまで協議があり、計画は進んでいるのか。

中学校の学校給食は、全国では七割の学校で実施されている。宮津でも学校給食を望む声が強くなっているが、実施する計画はあるのか。

**答弁** 火葬場については、早期に建設を進めたいが、合併協議の調整案件であり、具体の取組みまで時間が必要である。

中学校の給食については、学校側や保護者、生徒の意向や新たに対応する場合の手法の問題など、整理すべき課題も多いことから、今後の推移を見たい。

## その他の質問

看護師等医療従事者の確保の問題について

# 介護予防施策の 充実について

公明党 松浦 登美義

## 答弁要旨

### 広域的な対応も含め検討

**質問** 高齢化の進展と共にここ数年、軽度の要介護と認定される人が急増している。その上に、要介護状態になる恐れのある人が、約百万人にも上ると指摘されている。高齢者が元気で生活し、生きがいを持って暮らせる社会にするために介護予防が重要になってくる。現在、軽い負荷をかけて使わなくなった筋肉を使ったり動かしたりする高齢者向けの筋力トレーニングが介護予防に効果があると言われている。歩いて行ける場所にトレーニング機器の整備。サポートする人材の育成と配慮も必要と思うが、介護予防施策について質問する。

**答弁** 筋力向上トレーニングは、開始前と終了後を比較すると、筋力、バランス能力、最大歩行速度等が改善されるほか、心理的にも変化が見られるなど大変有効であると考えられている。しかし、事業実施には専門スタッフの確保、専用機器の設置、対象者が自主的、継続的に活動していく仕

組みづくりなど、多くの課題があることから、今後、広域的な対応も含め検討していく。また、京都府においては、身近なところで必要なりハビリテーションが受けられる体制を目指して、弥栄国保病院をリハビリテーション支援センターとして指定された。今後、連携や活用を図っていく。

## その他の質問

IP電話の導入と情報化基盤整備の充実について



介護施設のリハビリ風景



日置中の給食風景



## あ と が き

暑中お見舞い申し上げます。  
ご承知のとおり、宮津市は、今年市制施行五十周年という大きな節目を迎えており、市議会では、この記念事業の一環として、「市民議会」を去る五月三十日に開催し、十三人の市民の方々に、一日議員として、宮津市についての思いをご提言いただきました。私達議会議員といたしましても、改めて市政への思いを認識したところでありま

す。  
十三人の一日議員の皆様、本当にありがとうございました。  
(なお、詳細については掲載の

とおりであります。ご披見ください。)

さて、六月定例会最終本会議では、各委員会等の役員改選を行いました。当議会情報化等特別委員会も若干の委員変更と委員長、副委員長の交代があり、心機一転、市民の皆様の期待にこたえられる「議会だより」の発行に向けスタートしました。今後とも、ご拝読の上、ご意見を寄せてください。

今年は、例年より梅雨明けも早く、厳しい夏本番を迎えています。ご自愛の上、日々ご精励ください。